日光夏まつり

新企画の行事に人気集まる

おはやしコンクール
ヤング・サマーコンサート
歌謡・民謡大会

◀いづみちゃんドーナッズ

日光夏まつりは、八月八日の「歌謡・民謡大会」で全日程を終りました。今年の夏まつりは出足から雨にたたられ、二日間予定していたメーン行事の「日光和楽踊り」が二十八日の一日だけになり、二千人の市民や観光客で賑わいをみせたものの、いまひとつ盛り上がりを欠いたものになってしまいました。

しかし、夏まつり後半に入ってからは市民の間にようやく祭り気分が浸透、特に今年から新しく企画した「おはやしコンクール」「ヤングサマーコンサート」「歌謡・民謡大会」の三行事には、関係者の心配をよそに予想以上の人出をみせ、これからの夏まつり行事には欠かせない催しものになりそうです。

まず、八月一日総合会館大ホールで行われた「おはやしコンクール」には、市内から三チーム、市外から十チームが参加、それぞれに郷土色豊かな〝おはやし〟を披露しました。

新企画の第二弾、ヤングサマーコンサートは、その名のとおり若者のコンサートらしく会場となった総合会館大ホールは若い熱気でムンムン。姉妹都市パームスプリング市の青年も姿を見せ思わぬところで友好親善を果たしました。

出演者は、いづみちゃんドーナッズ、守友ひであき十夕雨子、手塚和男、ザ・ラーク、マッドエンジェルスの五つのグループでした。

日光夏まつりの最後の行事となった「歌謡・民謡大会」は、民謡の部に四十人が参加、日ごろ鍛えたのどと踊りを披露しました。また、カラオケ大会には飛び入り参加も含め二十八人が参加、テープが飛び、花束が贈られるなど熱っぽい雰囲気の中で、すばらしいのどで観衆を魅了しました。

〔夏まつり関係のコンクールの結果は、次のとおりです。〕

歌謡コンクール
最優秀歌唱賞に 斎藤 進さん

◎最優秀歌唱賞 斎藤進（相生町）人生かくれんぼ ◎優秀歌唱賞 藤掛俊一（下鉢石町）メリージェン ◎演技賞 伊原三郎（和泉）望郷酒場 ◎熱演賞 手塚勝成（藤原町）抱擁 ◎努力賞 君島平（宝殿）関東流れ唄 ◎市長賞 本郷良夫（所野）旅の終りはおまえ ◎市議会議長賞 田中近夫（中宮祠）みちのくひとり旅

▲表彰を受ける斎藤進さん

▶賑わいをみせた伝統工芸品展

伝統工芸品展
八百点が出品される

日光伝統工芸品の展示会は、七月三十日から八月一日までの三日間、総合会館ホワイエで行われました。

この展示会は今年で二十九回を数え、すっかり定着し、連日多くの市民や観光客でにぎわいました。

出品された作品は、一般が二十五名で六百八十九点、美術工芸が四名で八十一点、アマチュアが、十二名で三十七点の合計八百七点、審査の結果、次の方が入賞しました。

〔木地彫刻一般商品の部〕
◎県知事賞 ㈲三島屋（牡丹菖蒲五段引出）◎県中央工業指導所長賞 伊豆正夫（二尺皿）◎日本経済新聞社賞 中川商店（色紙八梅彫）◎市長賞 ㈲宮下商店（長手飾棚）◎日光地区商工会議所会頭賞 中村清（尺二寸丸皿柿彫）◎市議会議長賞 田崎源太郎（小書棚）◎日光観光協会長賞 安原資和（扇面三猿）◎日光漆器協同組合理事長賞 安久都敏男（木の実入）

〔美術工芸品の部〕
◎県知事賞 鈴木一常（曙塗茶ビツ）◎日本経済新聞社賞 迎忠二郎（朱研出深鉢）◎市長賞 星野福男（平盆モミジ鹿）◎日光伝統工芸組合協議会長賞 野中重信（平盆）◎日光納涼夏まつり実行委員会長賞 高井晃一（翁）